

## 口は健康のもと Vol.73

### 骨が溶ける歯周病

今回は歯が抜けてしまう恐ろしい病気「歯周病」についてです。歯周病は「歯槽膿漏」とも言われ、歯肉に炎症が起こり、歯を支える骨が溶けてしまう病気です。

原因は細菌、いわゆる「プラーク」といわれるものですが、最近の研究では生活環境や遺伝的な因子も原因なることが分かってきました。しかし予防にとって大事なことは、やはり歯磨きであるプラークコントロールです。

さてレーザー光線がどのように歯周病の治療に応用するのかというと、レーザー光線が持つ殺菌作用です。レーザー光線によって歯周病の最大の原因の細菌を殺してしまうのです。具体的に言うと、歯と歯肉の間のポケットといわれるところに歯周病を引き起こす細菌がたくさんいるのです。そこにレーザー光線を照射して殺菌するわけです。

しかし、レーザー光線だけでは、完全に歯周病の原因につながる細菌をすべて殺せるわけではありません。レーザー光線をより効率よく治療に使用するためには、歯石を除去したり、歯磨き習慣の徹底といった普段のお口の手入れが大切になります。それらがうまくいってこそ効果が現れるものなのです。

虫歯や歯周病の治療は新しい治療器具が世にでて、やっぱり基本は毎日の歯磨き習慣です。皆さんもどうか毎日のお口のお手入れをお忘れなく。



奥羽大学歯学部附属病院

総合歯科 教授 横瀬 敏志